

3学期がスタートしました。保護者の皆様、地域の皆様、本年も本校教育活動へのご協力とご支援をよろしくお願いいたします。(12日の下校時にはさっそくみまもりたい・SGの皆様にお世話になりました。寒い中、ありがとうございました。)

始業式 ～1月11日～

11日(火)から3学期がスタートし、55人の子ども達全員が元気な笑顔を見せてくれました。さっそく始業式を行い、式の中で私は子ども達に3つの数字を示しました。

最初に47と50を示し、いつものようにクイズ風に「何の数かわかりますか？」と尋ねました。そんなに難しい問いではありません。何人かの子供はすぐに分かったようです。指名した子が見事に答えてくれました。

50は3学期の登校日数です。2学期の83日と比べるととても短いです。修了式の3月24日がゴールになります。まずはこの短さを意識してほしいと話しました。

続いて47これは6年生の登校日数です。6年生がしっかり答えてくれました。在校生よりさらに3日も少なく、3月18日の卒業式の日がゴールとなります。

最後にこの数字を示し、意味を尋ねました。+1です。

近くの友達同士で相談させてみました。これは私の願いを込めた数字です。4月からは1年生は2年生へ、2年生は3年生へ・・・6年生は中学1年生へと、全員が次の学年に向けプラス(+)¹の進級をします。3学期には進級に向けて力を蓄える大切な準備期間となる学期です。それに備えてほしいという意味を込めて+1を示しました。

成人式を含めた3連休はよいお天気でしたが、11日の登校日は荒天でした。体育館での始業式は屋根を打つ激しい雨音が聞こえる中での式となりました。

私は話の最後に、1月2月は厳しい冬でつらくて大変なことも多いだろうこと。しかし、それに負けないで元気に登校し、1日1日を大切にしながらぐーんとステップアップし成長してほしいと伝え、始業式の挨拶を終えました。

【学校ホームページより】1月11日(火)

本校の3学期がひとりの欠席もなく元気よくスタートしました。元気で全員が集まることができたことを何より嬉しく思います。登校日数の少ない3学期。

1日1日を大切にそれぞれが、集団が、学校が、成長していきたいと思えます。教室ではすべての学年が落ち着いて学習を始めていました。新年の抱負を発表したり、百人一首を楽しんだり、この時期ならではの活動もありました。川合小学校、3学期も全校一丸となつてがんばります！

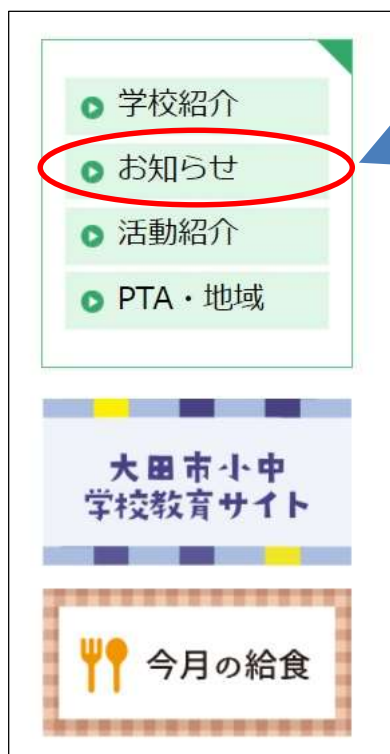


ホームページに 「不安やなやみの相談窓口」 紹介ページを作りました！

本校の子供達はいつも明るい笑顔を見せてくれています。しかし、誰にでも不安や悩みは生じるものです。そんなときに頼ることができる窓口の一つに、電話やメール、ネットなどで相談ができる「外部の相談窓口」があります。

この度、本校ホームページで紹介しました。「お知らせ」を開くと常設していますのでご承知おきください。学校でも子供達に紹介しました。

この「お知らせ」をクリックすると、下記のページが開きます。
そこに、いくつかの窓口の URL と QR コードを載せています。



※校長室日より

裏面に続きます ↓



【校長コラム】 地域の皆様はじめたくさんの賀詞（年賀状等）をいただきました。心よりお礼申し上げます。3学期もどうぞよろしくお願ひします。

さて、3学期も「基礎基本」とそれを活かした「深い学び」の両輪をしっかりとまわして、子供達を「ぐーんと」伸ばしていきたいと思ひます。

さっそく1月には中学年は「樹木学習」を行います。また、プログラミング学習を低学年・中学年は1月に、高学年は2月に計画しています。

いずれもNPO団体等、外部人材の協力を得ての学習です。

外部人材の活用により学校だけでは対応できないヒト・モノ・コトを準備した学習が可能になります。また、子供達は「先生以外の大人との学び」により、より広く「社会性」や「人間性」に触れることができます。

外部との連携はコーディネーターする先生たちにとっては大変なことです。本校教員は生き生きと学びをつないでくれています。※低学年の樹木学習はコロナの影響で中止としました。また上記学習はコロナ状況によっては中止や延期になる場合もあります。



児童総会・人権集会のつづき…

子供たちは学年で分担して、様々な人権に関する取組にも挑戦していました。会の後半では互いの作品を紹介し合いました。

たとえば、人権ポスター。中学年が取り組みました。一番上のポスター「わたしに何ができるかな？」は、3年生 三浦結菜さんの作品です。低学年の取組の人権標語「ひとりにしないよ いっしょにあそぼ」は1年生 湯川実季さんの作品です。高学年は人権作文に挑戦しました。小さくてわかりにくいですが、上の4枚「みんなを大切に」は5年生 俵 大智さん、下の「気づいてよかった ぼくの人権感覚」は6年生 山根冬輝さんの作品です。

子供たち一人一人が学んだことや考えたことを伝え合うことで、55人の子供たち全員の学びになるし、様々な価値に触れることにつながりました。最後は、川合小にやさしい雰囲気がますます広がっていくことを願い、担当教員が本の読み聞かせをして集会を終えました。



↑「ちくちくとふわふわ」
ちくちくのスパイクとふわふわの
フラフイー。ちくちくじゃなくふ
わふわの空気を増やそうねというお
話でした。

6年生 社会科で同和問題学習

12月6日、6年生が同和問題学習を行いました。同和問題の歴史を学ぶことで、同和問題をはじめとするあらゆる人権問題の解決に向け主体的に行動できる資質を育むことをねらった学習です。



江戸時代の身分制度を終了させ差別解消の法的根拠となった「解放令」発令後もなお差別され続けた人々の心情、差別する側の人々の心情を考えました。また、差別に立ち向かった人々のたくましさ

へも思いを寄せました。他の教員も参観し、各学年での人権教育の取組に生かしています。